



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日  
上場取引所 東

上場会社名 理想科学工業株式会社

コード番号 6413 URL <https://www.riso.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 羽山 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 成宮 慶臣 TEL 03-5441-6611

定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月18日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（決算説明動画（録画）を配信予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	78,990	0.3	5,111	△17.3	5,872	△7.7	4,378	7.1
2025年3月期	78,723	5.5	6,183	17.6	6,364	2.6	4,088	△15.4

（注）包括利益 2026年3月期 6,992百万円（29.5%） 2025年3月期 5,398百万円（△33.4%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	68.71	—	6.5	6.4	6.5
2025年3月期	62.80	—	6.1	7.2	7.9

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	95,201	68,792	72.3	1,093.58
2025年3月期	88,911	66,505	74.8	1,037.20

（参考）自己資本 2026年3月期 68,792百万円 2025年3月期 66,505百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	7,513	△3,247	△3,200	15,533
2025年3月期	3,347	△8,303	△1,465	13,706

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	3,206	79.6	4.9
2026年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	3,145	72.8	4.7
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00		76.7	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	39,000	3.7	2,300	△9.5	2,400	△14.6	2,200	22.8	34.97
通期	80,900	2.4	4,900	△4.1	5,100	△13.1	4,100	△6.4	65.18

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	72,000,000株	2025年3月期	72,000,000株
2026年3月期	9,094,616株	2025年3月期	7,879,016株
2026年3月期	63,722,575株	2025年3月期	65,095,968株

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	57,187	△3.1	2,580	△41.7	4,873	△22.1	4,391	△12.4
2025年3月期	58,989	3.6	4,427	18.9	6,256	2.6	5,014	△1.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	68.91	—
2025年3月期	77.04	—

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	78,320	58,308	74.4	926.92
2025年3月期	74,974	57,899	77.2	902.98

(参考) 自己資本 2026年3月期 58,308百万円 2025年3月期 57,899百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(決算説明会内容の入手方法)

「2026年3月期決算説明会」は、2026年5月15日(金)にオンデマンド方式での動画(録画)配信にて公開を予定しています。説明に使用する決算説明会資料についても、同日当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
(6) 中東情勢による事業及び業績への影響について	4
(7) 研究開発活動に関する説明	4
2. 経営方針	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	14
(重要な後発事象の注記)	14
5. 役員の変動	15
(1) 代表取締役の変動	15
(2) その他の役員の変動	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、2026年3月期の経営方針に、「印刷機器関連事業の安定した運営を継続する」、「理想科学らしい企画・開発を推進する」、「コーポレート本部の企画力を充実する」を掲げ運営してまいりました。

当期の業績は、売上高は前期並みとなり、営業利益は前期と比べ減益となりました。

印刷機器関連事業の売上高及び売上総利益は、2024年7月のインクジェットヘッド事業統合による効果や為替の円安影響が増加に寄与したものの、日本の孔版事業での販売減少が継続したことや海外のインクジェット事業での本体製品の販売が減少したことにより、前期並みとなりました。

販売管理費が事業統合や為替の円安影響等により増加したため、営業利益は減益となりました。

営業外損益に為替差益3億3百万円（前期は為替差損3億1千9百万円）を計上し、特別利益に投資有価証券売却益6億7千7百万円、特別損失に子会社清算損1億1百万円（前期は構造改革費用4億9千万円）を計上したことなどにより親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。

売上高は789億9千万円（前期比0.3%増）、営業利益は51億1千1百万円（同17.3%減）、経常利益は58億7千2百万円（同7.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は43億7千8百万円（同7.1%増）となりました。

なお、当連結会計年度の期中平均為替レートは、1米ドル150.77円（前期比1.81円の円高）、1ユーロ174.79円（同11.04円の円安）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### ・印刷機器関連事業

当社グループは、印刷機器関連事業として、「印刷機器事業」と「インクジェットヘッド事業」を行っております。このうち「印刷機器事業」では、高速インクジェットプリンター「オルフィス」を主としたインクジェット事業とデジタル印刷機「リソグラフ」を主とした孔版事業を行っております。

印刷機器関連事業は、売上高は773億1千7百万円（前期比0.4%増）、セグメント利益は48億3千8百万円（同18.1%減）と前期と比べ売上高は前期並み、セグメント利益は減益となりました。

日本の売上高は357億6千6百万円（同1.2%減）、海外の売上高は415億5千1百万円（同1.7%増）となりました。

#### ・不動産事業

当社グループは、不動産事業としてビルの賃貸等を行っております。

不動産事業の売上高は、10億6千1百万円（前期比3.6%増）、セグメント利益は6億4千2百万円（同3.3%増）となりました。

#### ・その他

当社グループは、上記の報告セグメントの他、プリントクリエイティブ事業、デジタルコミュニケーション事業及びアプリケーションソフトウェア事業等を行っております。

その他の売上高は、6億1千1百万円（前期比6.9%減）、セグメント損失は3億6千9百万円（前期は3億4千5百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

総資産は62億9千万円増加し、952億1百万円となりました。また、純資産は22億8千6百万円増加し、687億9千2百万円となりました。

主な増減内容は、資産の部では、現金及び預金が18億8千8百万円、投資有価証券が26億2千2百万円、退職給付に係る資産が10億9千6百万円それぞれ増加しました。また負債の部では、短期借入金が21億2千6百万円、退職給付に係る負債が7億8千6百万円それぞれ増加し、長期借入金が7億5千1百万円減少しました。純資産の部では、利益剰余金は11億7千2百万円増加、自己株式は14億9千9百万円増加（純資産は減少）、為替換算調整勘定は17億5百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は2.5ポイント減少し72.3%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ18億2千6百万円増加し、155億3千3百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は75億1千3百万円(前期比124.4%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益63億5千9百万円、減価償却費32億2千3百万円、法人税等の支払額16億7千7百万円によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は32億4千7百万円(同60.9%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15億1千3百万円、投資有価証券の取得による支出18億9千1百万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は32億円(同118.4%増)となりました。これは主に、短期借入金の純増額21億2千4百万円、自己株式の取得による支出14億9千9百万円、配当金の支払額32億5百万円によるものです。

## (4) 今後の見通し

次期の業績予想は、売上高809億円、営業利益49億円、経常利益51億円、親会社株主に帰属する当期純利益は41億円を見込んでおります。業績見通しにおける為替レート的前提は、1米ドル150円、1ユーロ175円です。

次期においては、売上高はフィリピン販売店の事業承継等により増収を見込んでおります。一方で、営業利益は同事業承継に伴う一時費用やのれん償却費の負担等により減益を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益につきましても減益を予想しております。

中東情勢による影響として現時点で想定する原価上昇を次期業績予想に織り込んでおります。ただし、今後の情勢次第ではさらに業績に影響を及ぼす可能性があります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

株主に対する利益の配分については、以下の2点を「基本方針」としております。

- ①企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うこと
- ②安定配当の継続に努めること

「基本方針」に基づき、期末配当による年1回の剰余金の配当を行います。また、自己株式の取得も株主に対する利益還元の一つと考えており、株価水準や市場の動向を考慮しながら適宜実施します。所有する自己株式は原則として消却します。

当期の期末配当金は1株につき50円とする予定です。自己株式については、当期中に合計1,215,600株を14億9千9百万円で取得しました。

次期の配当金は、上記「基本方針」を踏まえ1株につき50円とする予定です。ただし、今後の中東情勢が業績に影響を及ぼした場合、配当に影響を及ぼす可能性があります。

## (6) 中東情勢による事業及び業績への影響について

2026年2月28日以降の中東情勢の緊迫化により、日本における原油及びナフサの供給に影響が生じていると認識しております。

当社製品を構成する原材料や部品にはナフサから生成される化成品や樹脂が多く用いられており、当社製品の製造に影響があるものと判断しております。中東情勢の緊迫化を受け、一部の取引先より原材料や部品の出荷調整や値上げの通知がありました。

また、原油供給の制約等によりエネルギー価格が著しく高騰した場合には、当社製品の製造原価や輸送費・光熱費等の経費増加を招き、当社グループの業績に影響があるものと判断しております。

## 【原材料や部品の価格上昇の影響について】

原材料や部品の価格上昇に伴う一定の製造原価上昇を想定し、次期業績予想に織り込んでおります。ただし、今後の情勢次第では現時点の想定を上回る原価上昇が生じる可能性があります。

## 【経費の上昇について】

エネルギー価格の高騰によって輸送費や光熱費などが上昇し、経費が想定以上に上昇することによって当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点では合理的な算定が困難であることから次期業績予想には織り込んでおりません。

## 【原材料や部品の調達について】

原材料や部品の調達においては、現在のところ著しい問題は発生しておらず、当社製品の販売やサービスの供給への影響は想定しておりません。しかしながら、ナフサの供給問題が長期化し原材料や部品の調達が滞った場合には、当社製品の販売やサービスの供給に影響が出るため、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

なお、中東情勢の緊迫化に伴う物価の変動や景気動向の変化による顧客需要の変動が当社製品の販売に及ぼす影響につきましては、現時点では合理的な算定が困難であることから次期業績予想には織り込んでおりません。

本資料に記載されている連結業績予想などの詳細に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により予想と異なる可能性があります。

## (7) 研究開発活動に関する説明

当連結会計年度におけるグループ全体の研究開発活動の金額は59億1千9百万円です。研究開発の活動は主に印刷機器関連事業によるものです。

## 2. 経営方針

当社グループの主要事業である印刷機器関連事業においては、インクジェット事業の収益力を強化することが課題であるととらえております。また、中長期的な課題は、経営環境の変化に適応し当社グループを効率的で強い企業体質に変えることだと認識しております。

当社グループの中長期的な成長を実現するために、製品・サービスの特長をいかした販売活動を全世界で展開してまいります。また、新規事業の創出に向けた活動を行ってまいります。

2027年3月期は以下の項目を経営方針に掲げ運営してまいります。

<2027年3月期経営方針>

印刷機器関連事業の収益体質の強化をはかる

理想科学らしい企画・開発を推進する

コーポレート本部の企画力を充実する

事業環境の変化に迅速に対応する

## 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

日本の会計基準は、国際的な会計基準へのコンバージェンスの結果、高品質かつ国際的に遜色のないものとなっており、国際会計基準と同等との評価を受けていることから、当社グループは会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、今後における国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,610	15,499
受取手形	831	880
売掛金	12,773	13,524
有価証券	218	110
商品及び製品	7,651	7,397
仕掛品	789	787
原材料及び貯蔵品	2,542	2,744
その他	2,989	3,203
貸倒引当金	△174	△162
流動資産合計	41,232	43,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,982	24,381
減価償却累計額	△16,895	△17,585
建物及び構築物 (純額)	7,087	6,796
機械装置及び運搬具	7,450	8,224
減価償却累計額	△6,485	△6,869
機械装置及び運搬具 (純額)	965	1,355
工具、器具及び備品	12,897	13,767
減価償却累計額	△12,093	△12,572
工具、器具及び備品 (純額)	803	1,194
土地	17,755	17,786
リース資産	310	280
減価償却累計額	△126	△146
リース資産 (純額)	183	133
建設仮勘定	582	738
その他	9,304	9,524
減価償却累計額	△7,510	△7,692
その他 (純額)	1,794	1,831
有形固定資産合計	29,172	29,836
無形固定資産		
のれん	2,308	1,764
ソフトウェア	1,104	1,377
その他	2,027	1,788
無形固定資産合計	5,440	4,931
投資その他の資産		
投資有価証券	4,288	6,911
長期貸付金	10	9
繰延税金資産	1,631	1,444
退職給付に係る資産	3,574	4,670
その他	3,574	3,424
貸倒引当金	△12	△9
投資その他の資産合計	13,066	16,449
固定資産合計	47,678	51,218
資産合計	88,911	95,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,556	5,406
短期借入金	1,404	3,530
1年内返済予定の長期借入金	563	751
未払法人税等	788	800
賞与引当金	1,992	2,167
役員賞与引当金	52	43
製品保証引当金	27	305
その他	7,607	8,710
流動負債合計	17,990	21,716
固定負債		
長期借入金	2,445	1,693
繰延税金負債	31	592
退職給付に係る負債	718	1,504
その他	1,220	902
固定負債合計	4,414	4,693
負債合計	22,405	26,409
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	38,213	39,386
自己株式	△8,315	△9,815
株主資本合計	58,792	58,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,212	2,936
為替換算調整勘定	3,138	4,844
退職給付に係る調整累計額	2,362	2,546
その他の包括利益累計額合計	7,713	10,327
純資産合計	66,505	68,792
負債純資産合計	88,911	95,201

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	78,723	78,990
売上原価	31,693	31,765
売上総利益	47,029	47,225
販売費及び一般管理費	40,846	42,113
営業利益	6,183	5,111
営業外収益		
受取利息	283	251
受取配当金	119	155
為替差益	—	303
その他	219	216
営業外収益合計	622	927
営業外費用		
支払利息	50	92
為替差損	319	—
固定資産除却損	22	20
その他	49	54
営業外費用合計	442	167
経常利益	6,364	5,872
特別利益		
投資有価証券売却益	—	677
保険戻戻金	68	73
特別利益合計	68	751
特別損失		
子会社清算損	—	101
投資有価証券評価損	—	87
減損損失	219	75
構造改革費用	490	—
特別損失合計	709	264
税金等調整前当期純利益	5,723	6,359
法人税、住民税及び事業税	1,682	1,671
法人税等調整額	△47	309
法人税等合計	1,634	1,980
当期純利益	4,088	4,378
親会社株主に帰属する当期純利益	4,088	4,378

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	4,088	4,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	503	723
為替換算調整勘定	30	1,705
退職給付に係る調整額	776	184
その他の包括利益合計	1,309	2,613
包括利益	5,398	6,992
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,398	6,992
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,114	14,779	37,410	△5,815	60,489
当期変動額					
剰余金の配当			△3,284		△3,284
親会社株主に帰属する当期純利益			4,088		4,088
自己株式の取得				△2,500	△2,500
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	803	△2,500	△1,696
当期末残高	14,114	14,779	38,213	△8,315	58,792

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,709	3,108	1,585	6,403	66,893
当期変動額					
剰余金の配当					△3,284
親会社株主に帰属する当期純利益					4,088
自己株式の取得					△2,500
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	503	30	776	1,309	1,309
当期変動額合計	503	30	776	1,309	△387
当期末残高	2,212	3,138	2,362	7,713	66,505

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,114	14,779	38,213	△8,315	58,792
当期変動額					
剰余金の配当			△3,206		△3,206
親会社株主に帰属する当期純利益			4,378		4,378
自己株式の取得				△1,499	△1,499
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,172	△1,499	△327
当期末残高	14,114	14,779	39,386	△9,815	58,465

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,212	3,138	2,362	7,713	66,505
当期変動額					
剰余金の配当					△3,206
親会社株主に帰属する当期純利益					4,378
自己株式の取得					△1,499
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	723	1,705	184	2,613	2,613
当期変動額合計	723	1,705	184	2,613	2,286
当期末残高	2,936	4,844	2,546	10,327	68,792

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	5,723	6,359
減価償却費	3,096	3,223
減損損失	219	75
のれん償却額	407	543
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△361	△812
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△32	712
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	△8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△33	△31
受取利息及び受取配当金	△403	△407
支払利息	50	92
為替差損益 (△は益)	28	△294
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△677
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	87
保険返戻金	△68	△73
構造改革費用	490	—
売上債権の増減額 (△は増加)	362	149
棚卸資産の増減額 (△は増加)	522	906
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,660	△974
未払金の増減額 (△は減少)	△188	10
未払消費税等の増減額 (△は減少)	66	8
その他	△1,015	△21
小計	5,207	8,866
利息及び配当金の受取額	408	416
利息の支払額	△51	△92
構造改革費用の支払額	△490	—
法人税等の支払額	△1,726	△1,677
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,347	7,513
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△406	△54
定期預金の払戻による収入	1,769	181
有形固定資産の取得による支出	△1,753	△1,513
有形固定資産の売却による収入	17	30
無形固定資産の取得による支出	△991	△944
投資有価証券の取得による支出	—	△1,891
投資有価証券の売却による収入	—	920
吸収分割による支出	△6,750	—
保険積立金の払戻による収入	138	147
その他	△326	△123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,303	△3,247
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,388	2,124
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△1	△563
自己株式の取得による支出	△2,499	△1,499
リース債務の返済による支出	△68	△56
配当金の支払額	△3,284	△3,205
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,465	△3,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	760
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,381	1,826
現金及び現金同等物の期首残高	20,088	13,706
現金及び現金同等物の期末残高	13,706	15,533

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社の事業は、印刷機器事業、インクジェットヘッド事業、不動産事業、プリントクリエイト事業、デジタルコミュニケーション事業及びアプリケーションソフトウェア事業等に分類しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	調整額	合計
	印刷機器 関連事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	77,042	1,025	78,067	656	—	78,723
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	—	△0	—
計	77,042	1,025	78,067	656	△0	78,723
セグメント利益又は損失(△)	5,906	622	6,528	△345	—	6,183
その他の項目						
減価償却費	2,904	101	3,006	90	—	3,096
のれん償却額	407	—	407	—	—	407

- (注) 1. 「印刷機器関連事業」には、印刷機器事業及びインクジェットヘッド事業を含んでおります。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントクリエイト事業、デジタルコミュニケーション事業及びアプリケーションソフトウェア事業等を含んでおります。
3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
4. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため記載していません。

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	調整額	合計
	印刷機器 関連事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	77,317	1,061	78,379	611	—	78,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	—	△0	—
計	77,317	1,061	78,379	611	△0	78,990
セグメント利益又は損失(△)	4,838	642	5,480	△369	—	5,111
その他の項目						
減価償却費	3,067	108	3,176	47	—	3,223
のれん償却額	543	—	543	—	—	543

- (注) 1. 「印刷機器関連事業」には、印刷機器事業及びインクジェットヘッド事業を含んでおります。  
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントクリエイト事業、デジタルコミュニケーション事業及びアプリケーションソフトウェア事業等を含んでおります。  
3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。  
4. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため記載しておりません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,037.20円	1,093.58円
1株当たり当期純利益金額	62.80円	68.71円

- (注) 1. 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しております。  
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	4,088	4,378
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	4,088	4,378
期中平均株式数(千株)	65,095	63,722

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

## 5. 役員の異動

### (1) 代表取締役の異動

該当事項はありません。

### (2) その他の役員の異動 (2026年6月24日付)

#### ① 新任取締役候補者

該当事項はありません。

#### ② 退任予定取締役

該当事項はありません。

#### ③ 新任監査役候補者

該当事項はありません。

#### ④ 退任予定監査役

(常勤) 監査役 鈴木 一豊